



## Web 外用製剤協議会ホームページ

当協議会では公式ホームページを開設しております。協議会の活動や外用貼付剤、塗布剤の特徴など、より詳しく知っていただくための最新情報や役立つコンテンツなどを掲載しております。  
<https://gaiyokyo.org/>



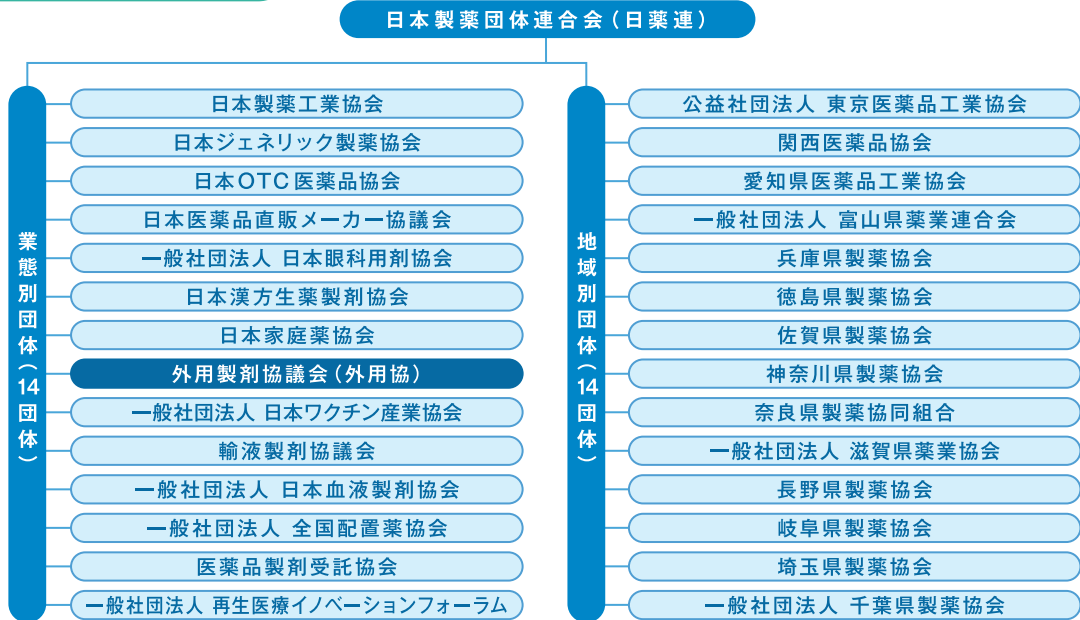
## Web バップ剤・テープ剤（鎮痛消炎貼付剤）Q&A 教えて! ハルコさん

医療用医薬品であるバップ剤やテープ剤に関する様々な疑問などについて、Q&A方式で分かりやすく解説しています。

<https://gaiyokyo.org/special-qa/>



## 日本製薬団体連合会組織図



2025年7月現在

### 会員会社

株式会社大石膏盛堂  
救急薬品工業株式会社  
第一三共株式会社  
大鵬薬品工業株式会社  
テイカ製薬株式会社  
東光薬品工業株式会社  
株式会社トクホン  
ニプロファーマ株式会社  
三笠製薬株式会社  
リードケミカル株式会社

岡山大鵬薬品株式会社  
興和株式会社  
大協薬品工業株式会社  
ダイヤ製薬株式会社  
帝國製薬株式会社  
同仁医薬化工株式会社  
ニチバン株式会社  
久光製薬株式会社  
祐徳薬品工業株式会社

### 準会員会社

池田薬品工業株式会社  
岩城製薬株式会社  
辰巳化学株式会社  
鳥居薬品株式会社  
株式会社 MAE  
マルホ株式会社  
株式会社陽進堂

### 賛助会員会社

株式会社あかつき  
出光ユニテック株式会社  
ウインクレル株式会社  
クラレトレーディング株式会社  
阪本薬品工業株式会社  
鈴木薄荷株式会社  
大日本印刷株式会社  
武内プレス工業株式会社  
TOPPAN ホールディングス株式会社  
日本バイリーン株式会社  
服部猛株式会社  
ZACROS 株式会社  
三谷産業イー・シー株式会社  
室町ケミカル株式会社

イスクラ産業株式会社  
稲畑産業株式会社  
オー・ジー株式会社  
呉羽テック株式会社  
三洋化成工業株式会社  
株式会社ダイゾー  
高砂香料工業株式会社  
田中藍株式会社  
長岡実業株式会社  
野村貿易株式会社  
株式会社フジコー  
丸東産業株式会社  
株式会社ミュチュアル

2025年6月現在 50音順



外用製剤の有効性・安全性・品質を高め  
人々の健康とQOLの向上に貢献します

## 外用製剤協議会ガイド



## 外用製剤協議会の目的

当協議会は外用製剤（貼付剤及び塗布剤）に関する諸問題について調査研究し、  
会員相互の研鑽を深めるとともに、外用製剤の円滑な供給を通じて、国民医療の向上に寄与することを目的としています。

### 目的達成のため 当協議会が行う 事業内容

- (1) 会員相互の情報交換と公正な意見の取りまとめ
- (2) 外用製剤の有効性、安全性及び品質確保に関する内外情報の収集と調査研究
- (3) 外用製剤の承認・認可、再評価等に関する調査研究
- (4) 外用製剤原料の品質及び需給確保等に関する調査研究
- (5) 外用製剤の普及、発展に関する調査研究
- (6) 外用製剤に関する学術セミナー及びシンポジウムの開催
- (7) 外用製剤の流通秩序の確立に必要な調査研究
- (8) 外用製剤に関する公正なプロモーション活動の促進
- (9) 関係行政機関、諸団体との連絡並びに意見具申
- (10) その他本会の目的達成に必要な事項



外用製剤協議会

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-4-2 一広グローバルビル 401

2025.08 01版

会長挨拶

当協議会は1979年に（当初は「外用剤開発研究会」として）設立され、2024年に45周年を迎えました。日本製薬団体連合会の業態別団体として、外用製剤に関する様々な問題について調査研究を行い、円滑で安定的な供給を通じて国民医療の向上に貢献することを目指して活動しています。

創設以来、局所性経皮吸収型鎮痛剤の有効性と安全性を確固たるエビデンスに基づいて確立し、医療従事者や患者様への啓発活動を推進し、品質向上にも注力してまいりました。その結果、外用貼付剤は腰痛や変形性関節症といった運動器疾患の治療において不可欠な治療手段となり、最新の「慢性疼痛治療ガイドライン（2018年3月）」や「変形性膝関節症治療ガイドライン 2023」においても、エビデンスに基づく使用が強く推奨されています。

さらに、局所性鎮痛剤で培った経皮吸収技術を応用して開発された全身性経皮吸収型製剤は、がん疼痛、認知症、パーキンソン病など幅広い疾患に適応し、患者様のQOL（生活の質）向上や健康寿命の延伸に貢献しています。今後、外用貼付剤の役割はますます重要になると考えています。

また、2019年以降、塗布剤の諸問題に取り組むため、塗布剤の開発や製造販売を行う企業も当協議会に加入しました。これにより、ステロイドや抗真菌薬といった基本的な外用医薬品の普及啓発活動に取り組んでいます。

今後も、外用製剤を通して国民医療の向上に貢献するために、安定供給の確保と新たな経皮吸収技術のイノベーション推進に取り組んでまいります。皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



会長 藤岡 実佐子

協議会のあゆみ

|              |    |                           |
|--------------|----|---------------------------|
| 1979年（昭和54年） | 6月 | 外用剤開発研究会として発足             |
| 1980年（昭和55年） | 4月 | 外用剤開発研究会・会則設定、本格始動        |
| 1996年（平成8年）  | 7月 | 外用製剤協議会に名称変更              |
| 1998年（平成10年） |    | 業態別団体として日本製薬団体連合会（日薬連）に加盟 |
| 2009年（平成21年） | 6月 | 協議会設立30周年                 |
| 2019年（令和元年）  | 6月 | 準会員として塗布剤企業5社が入会          |
| 2019年（令和元年）  | 6月 | 協議会設立40周年                 |

会 長

藤岡実佐子（帝國製薬株式会社）

副会長

中富一榮（久光製薬株式会社）  
緒方祐介（三笠製薬株式会社）  
中井 環（リードケミカル株式会社）

理 事

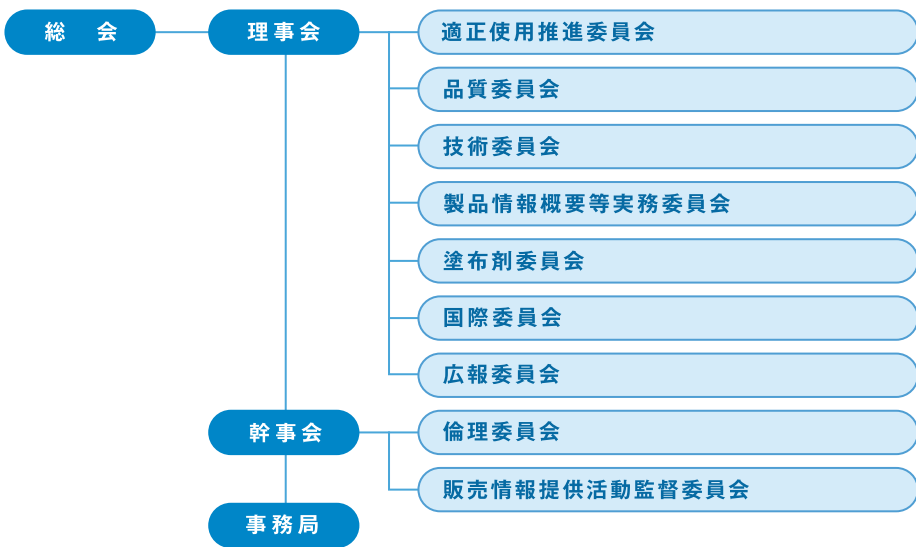
伊藤健一（株式会社大石膏盛堂）  
白石和義（岡山大鵬薬品株式会社）  
稲田裕彦（救急薬品工業株式会社）  
吉田 功（株式会社トクホン）  
吉武浩幸（祐徳薬品工業株式会社）

監 事

小林洋一（東光薬品工業株式会社）  
浜田順一（同仁医薬化工株式会社）

2025年6月現在 会社名50音順

協議会の組織図



委員会の活動紹介

適正使用推進委員会

外用貼付剤の薬効薬理に基づく有用性（効果・安全性）や適正使用に関する啓発活動等を通じて、外用貼付剤が保険医療上、有用かつ欠くことのできない必要な医薬品であることの理解と賛同を広く求めていく活動を行っています。

品質委員会

外用貼付剤の品質管理の基準（GQP）、製造管理及び品質管理の基準（GMP）、安定供給確保に向けた取り組み及びその関連事項について検討するとともにGMPの国際整合化を踏まえたGMP管理及び品質保証体制の向上と研鑽のための活動を行っています。

技術委員会

医療に貢献できる新しい外用貼付剤を患者さんに届けるために、研究開発にあたって守らなければならない国内外の規制や新しい技術の調査や検討、また高い品質を確保するための製造や品質管理の方法の検討を行っています。

製品情報概要等実務委員会

外用貼付剤の適正使用推進を図ることを目的に、関係各社の作成した医療用医薬品の製品情報概要をはじめとするプロモーション用資材等が、薬機法や各種行政通知に則して作成されるよう支援し、その適正化のための審査並びに検討を行っています。

塗布剤委員会

外用塗布剤に関する諸課題を、「薬価」「技術」「啓発」の3つの側面から検討し、外用塗布剤を製造販売する企業の意見を取りまとめ、各種学会及びその他関連団体との連携を深め、政策提言と広報活動を行っています。

国際委員会

我が国特有の製剤技術によりもたらされた有用な医薬品である外用貼付剤の海外における認知度を向上させること及び当協議会会員の海外展開を推進することを目的として、必要な情報を収集し、課題抽出とその対応策を構築していきます。

広報委員会

関係学会、諸団体等と連携し、患者さんをはじめ多くの関係者に外用貼付剤・塗布剤の有用性や医療上の必要性及び当協議会の活動等について理解・賛同を得るため、計画的かつ継続的な広報・啓発活動を行っています。

販売情報提供活動監督委員会

外用製剤協議会の会員会社及び準会員会社が行う医療用外用剤の販売情報提供活動の状況を把握するとともに必要な指導や助言等を行うことにより、問題事例の発生を未然に防ぐことを目的とした活動を行っています。